(通巻3908号/毎週日曜日発行/2026.11.8)　キリスト品川教会　品川区北品川4-7-40　TEL03(3443)1721

泉のほとり

●三位一体後第二十三主日

今月の詩編「第百二十九編」

我らの神、主をあがめよ。
その聖なる山に向かってひれ伏せ。
我らの神、主は聖なる方。



聖霊が働かれる群れ

ステファノの殉教をきっかけに、大迫害が起こり、信徒たちは各地へ散らされていきます。こういう場合に、誰もが親戚や知人を頼るでしょう。そしてそこに留まることができなければ別な所へ行きます。行った先で彼らは必ず、何が起こったのかと問われます。そうすると主イエスを信じる信仰と迫害を語らざるを得ません。人々は積極的に伝道して歩いたのではなく、そうせざるを得なかったので、結果的に福音を伝えることになったのです。

こうして、復活された主イエスの「あなたがたは、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また地の果てに至るまで、わたしの証人となる」という言葉が現実になりました。このことから、伝道をなさるのは、神さまだということがわかります。人を救いたいと本当に願っておられるのは神さまだからです。

散らされた一人であるフィリポはサマリアへ行きました。ユダヤ人とサマリア人は、長い間対立し、憎しみ合っていました。しかしフィリポは、そのサマリアに行ってキリストを宣べ伝えました。彼の働きによって、病人が癒やされ、悪霊に苦しむ人々が解放され、町には大きな喜びが起こりました。神が自分たちを忘れず、共にいてくださることを、人々が知ったからです。

そこには、魔術を行うシモンもいました。彼もフィリポと同じような働きをしましたが、その目的は全く違いました。フィリポの働きは、神さまが彼らと共にいてくださり、顧みることを示す「しるし」でし。しかしシモンの働きは、自分を偉大な者に見せるための「魔術」に過ぎませんでした。

不思議なことをやってみせる人は少なくありませんが、彼らを信じていいかどうかは、誰のためにしているかで判断します。主イエスも多くの奇跡を行われましたが、ご自分のためになさった奇跡は一つもありません。すべて誰かのためでした。

サマリアでの出来事を聞いて、エルサレムからペトロとヨハネが来ます。彼らは洗礼を受けたサマリアの人たちがまだ聖霊を受けていないのを見て、彼らの上に手を置くと、聖霊が降りました。これはフィリポの洗礼が不十分だとか、人々の信仰が足りなかったのではありません。聖霊がご自分の判断でなさったことです。

なぜ聖霊は二人が来るまで待たれたのでしょうか。それは、ユダヤ人とサマリア人を一つにするためです。長い歴史の中で築かれた敵意の壁を、打ち壊すためです。そのためにはエルサレム教会の指導者が彼らの上に手を置いて、それで聖霊を受けることが必要だったのです。

その後、フィリポは表舞台から姿を消します。自分が始めた働きに固執せず、ペトロとヨハネに全てを委ねたのです。ここに彼の信仰が表れています。

このようにして、教会はエルサレムの外へと一歩を踏み出しました。数百年の憎しみを超えて、サマリアの人たちと信仰の交わりを作ることができました。考えもしなかった出来事を、聖霊が起こしてくださいました。教会はいつでも、この聖霊の導きによって歩むのです。それはわたしたちの教会も同じです。

（使徒八章一ｂ～二五節　吉村　和雄　名誉牧師）

《私たちのビジョン》

主イエスの愛の中で、
愛と交わりを通して
お互いに成長する教会

《2026年度
教会全体課題》

神さまによって
示された新しい歩みの中で、
キリストの体としての一致を
祈り求める
ーコミュニケーション、交わり、
伝道、学びなどを通してー

《今日のお知らせ》

○今日の子ども礼拝は成長感謝礼拝です。子どもたちの成長を感謝し、礼拝をささげます。

○一四日(土)一二時三〇分より、湘南基督教墓苑で墓苑礼拝を行います。伊藤知恵子姉、小林千勢子姉の納骨を行います。

《ロビーの会より》

本日の礼拝後ロビーでコーヒーサービスを行います。ホットコーヒーとお菓子を70円で販売します。どうぞお越しください。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会を第二・三シオンルームで行います。

《教会記念日ホール集会
Zoom配信のお知らせ》

次週一一月一五日は、教会記念日礼拝をお捧げいたします。礼拝後のホール集会では、スライドショーで教会記念日の出来事を振り返る予定です。今回はホール集会をZoomで配信することになりました。教会事務所からZoomのURLをお送りしますので、遠方などでホール集会に参加できない方は、ぜひご参加ください。

《シオンの会より》

一一月一一日（水）一〇時三〇分～一二時シオンの会を地下ホールで行います。（オンラインも併用します。）テキスト「使徒言行録を読もう」P.一四〇　一九 教会を生かす力（一七章一節～一五節）を読みます。
新しく参加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。
(司・会)の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇百二十九篇】都に上る歌。

イスラエルは言うがよい。
「わたしが若いときから
彼らはわたしを苦しめ続けたが
わたしが若いときから
彼らはわたしを苦しめ続けたが
(司・会)
彼らはわたしを圧倒できなかった。
耕す者はわたしの背を耕し
畝を長く作った。」
主は正しい。
主に逆らう者の束縛を
断ち切ってくださる。
シオンを憎む者よ、皆恥を受けて退け。
抜かれる前に
枯れる屋根の草のようになれ。
刈り入れても
手を満たすことはないように。
穂を束ねても
ふところを満たすことはないように。
傍らを通る者が
(司・会)
「主はあなたがたを祝福される。
わたしたちも主の御名によって
あなたがたを祝福する」と言わないように。

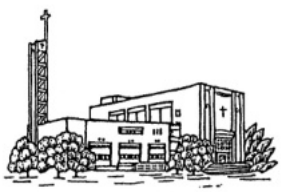
《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)
説　教　「子どもを愛される主イエス」
聖　書　マルコ10章13～16節
説教者　吉村 和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)
説　教　「神が共におられた」
聖　書　創世記39章1～6節
説教者　宮間 彰広 兄

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)
讃美歌　334番　191番
説　教　「キリストにまで成長する教会」
聖　書　エフェソ4章11～16節
説教者　黄 允湜 牧師





主日礼拝 (午前１０時３０分)

讃美歌　　６番　　１４２番
説　教　　「キリストを知るすばらしさゆえに」
聖　書　　フィリピ３章１～１１節(新約 P.364)
司　式　　山下 純一 兄
聖餐司式　黄 允湜 牧師
説教者　　黄 允湜 牧師

前奏曲「いざやともに」J.S.ﾊﾞｯﾊ

○讃美歌６番

1.われら主をたたえまし きよき御名あがめばや
　くる日ごとほめうたわん 神にまし王にます
　主のみいつたぐいなし

2.世は世へと うたいつぎ よろこびとおそれもて
　主のくしきわざをつげ いつくしみ知れるもの
　みさかえをほめたたう

3.みめぐみはかぎりなく 主にたよる子らにあり
　みいかりをしのびつつ あわれみをたれたもう
　主をあいし 主につかえん

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○聖歌隊による讃美

「イエス様のように」　L. Plankenhorn 作曲
私の願いは　イエス様のように生きること
愛に満ち　言葉と行い　主のように
イエス様について行く　迷いはありません
信じます　イエス様を　迷いはありません
十字架が先にたつ　迷いはありません
私たちの願いは　イエス様のように生きること
愛に満ち　言葉と行い　主のように　主のように

○讃美歌１４２番

1.さかえの主イエスの 十字架をあおげば
　世のとみほまれは 塵にぞひとしき

2.十字架のほかには ほこりはあらざれ
　この世のものみな 消えなば消えされ

3.みよ主のみかしら み手みあしよりぞ
　めぐみとかなしみ こもごもながるる

4.めぐみとかなしみ ひとつにとけあい
　いばらはまばゆき かむりとかがやく

5.ああ主のめぐみに むくゆるすべなし
　ただ身とたまとを ささげてぬかずく

アーメン

聖餐曲「ちとせの岩よ、わが身を囲め」D.ｳｯﾄﾞ

後奏曲「イエス君はいとうるわし」　L.ﾗｰﾙｿﾝ